

## 第3回の様子

### 12月18日(水)午後7時～午後9時

35歳から49歳、50歳から64歳までの年代を主とするグループが、場所をふるさと交流館に移して、会議を行いました。

内容は、テキスト7ページ「滝沢市で幸せに暮らすために重要なことと担い手」と「幸せを育む地域環境をつくる主役は誰か」について、グループで話し合いを行い、発表しました。

各グループでは、健康、収入・仕事、人との関わりどれも、個人の取組みが大切である旨の発表が行われました。

また、世代ごとに、市が実施したアンケートの結果の一覧を見ながら、世代ごとの幸福感について意見交換を行いました。

今回は、グループごとに意見をまとめるところからスタートです。

### 12月21日(土)午前10時～12時

18歳から34歳、65歳以上の年代を主とするグループが、市役所大会議室で会議を行いました。



各グループで、個人が思う幸福感を披露し、世代ごとに、市が実施したアンケートの結果の一覧を見ながら、世代ごとの幸福感について意見交換を行いながら、それぞれの世代で感じる幸福感について、グループでまとめました。

今回は、各グループの意見をまとめた素案をもとに、指標と行動までを考えたいと思います。

また、次のような質問がありましたので、共通理解のために紹介いたします。

問 この会議で作っているものは何か？

答 次の総合計画は、市民の「幸福感」を育む環境づくりを使命としています。そのため、市民の皆さんの幸福感を世代別に特徴をとらえて明らかにすることとしています。

村政懇談会等でいただいた意見を踏まえて、市が世代別の幸福感の素案を作りましたが、更に市民目線で、市民が共感できる内容のものとするため、皆さんのご意見を直接伺う機会を設けさせていただいたものです。